

# 結果報告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月25日(木)	試合番号	2-2	回戦	2回戦
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
琉球コラソン			日本大学		
得点合計	小計		小計	得点合計	
33	15	前半	17	30	
	18	後半	13		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【戦評】

記載者氏名 堀 卓行

日本大学のスローオフで試合開始。日本大は2番水町、19番原の得点で2点を先制する幸先の良いスタート。対する琉球コラソンも15番松信、23番水野の得点ですぐさま同点に追いつく。日本大はコラソンの高いラインの積極的なディフェンスに苦しむも、コラソンの2回の退場の糸口に前半10分で1点リード。その後一進一退の攻防を繰り返すが、コラソンが20番中村の得点を皮切りに3連取。その後も得点を重ね、前半16分には10-6と前半最大の4点リードを奪う。このままコラソンが試合の主導権を握ると思われたが、日本大は2番水町の3連取、GK1番渡邊のファインセーブで再び同点に戻す。流れを変えたいコラソンは1番棚原、33番東長濱を投入しDFを6-0でディフェンスに変更。しかし、33番東長濱の退場もあり、流れを引き戻すことができず、前半17-15の日本大のリードで折り返す。

前半リードで折り返した日本大はその後波に乗り19番原のミドルシュートなどで後半7分にはこの日最大の4点リードを奪う。ここでコラソンは再び1番棚原、33番東長濱を投入。これで流れが変わり、コラソンは1番棚原の個人技などで得点を重ね後半12分とうとう同点に追いつく。再びリードを広げたい日本大であったがコラソンのGK22番石田のファインセーブに阻まれ、なかなかリードを広げることができない。日本大が攻めあぐねている間にコラソンは13番青木のサイドシュートで27-26とし、この試合久々のリードを奪う。後半22分1点リードを許した状況で日本大はたまらずタイムアウト。流れを変えにかかると、タイムアウト後流れをつかんだのは逆にコラソン。1番棚原、23番水野、33番東長濱を中心としたオフェンスで着実に得点を重ね、追いつがる日本大を振り切り33-30で琉球コラソンが試合をものにした。